

まつしま ミクルハイタより

第15号

平成26年1月15日発行

発行所 (公社)東松島市シルバーハウスセンター編集委員会
宮城県東松島市小野字新宮前5番地
TEL 0225(86)1097 FAX 0225(86)1277



視察研修旅行に参加した会員の皆さん

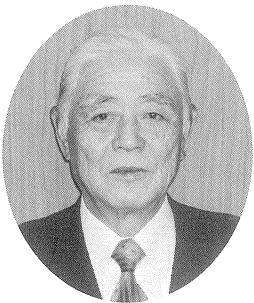
理事長	齊藤壽朗	副理事長	伊藤隆
理事	菊地良大	理事	松浦正義
監理	佐藤紺野	理事	佐藤聖二
監理	伊藤和義	理事	丹野美代子
監理	佐々木宏	事務	伊藤美代子
監理	形俊文	事務	丹野美代子
監理	佐々木義美	事務	伊藤和義
監理	屋征八郎	事務	丹野美代子
監理	奥田俊郎	事務	伊藤和義
監理	沼倉ひろ子	事務	丹野美代子
監理	藤二三代	事務	伊藤和義
業務係長	齊藤洋平	業務係長	齊藤洋平
業務係	齊藤洋平	業務係	齊藤洋平
業務係	齊藤洋平	業務係	齊藤洋平

謹賀新年

新しい年を迎える
本年もよろしく
お願ひ申し上げます

平成二十六年元旦

新年のごあいさつ



理事長 齋藤壽朗

新年明けまして、おめでとうございます。

会員の皆様方には、健やかに初春を迎えたこととお慶び申し上げます。

さて、早いもので東日本大震災の発生から三年になります。島市においては、市当局始め関係皆様方のご尽力により、復旧・復興に向けて着実に歩みを進めており、四月には災害公営住宅への入居も始まるとしております。

当シルバー人材センターにおいては、震災後の厳しい環境を乗り越え、会員役職員が一丸となつて取り組んできた結果、平成二十四年度の契約金額が一億円を超えましたが、本年度につきましても一億円を超える見込みとなつております。これもひとえに会員の皆様の頑張りと、関係皆様方の

ご支援のたまものと思つております。

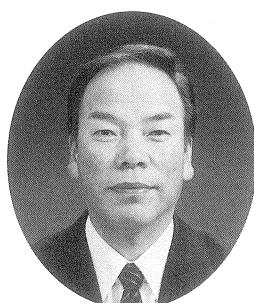
また、当シルバー人材センターの事業目的にご理解とご賛同をいただき、賛助会員として市内の十六の企業・団体の皆様にご入会いただきましたことを心から感謝を申し上げます。今後も引き続き、ご指導、ご鞭撻を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

公益社団法人として二年目を迎えた、公益性の高い団体として、社会的にも高い信頼が得られるように、センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」を再認識し、会員による自主的・主体的活動を推進してまいりました。

特に昨年四月から草刈り、草取り業務に就業する会員で除草班を編成し、班長・リーダーを中心に行つていただきしておりますが、就业できる会員が不足するなか、受注も多く、本当に大変だったと思いますが、除草班の皆様の頑張りで、ほぼ計画どおりに業務を終了することができましたこ

とは、会員の主体的な活動と、会員が共に助け合いながら共に働く就業が一層推進されたものと思つております。

震災で被災し職を失った高年齢者の方々や、震災関連事業が終了し職を失った高年齢者の方々の入会を促進し、就業の場を提供してまいりましたが、今後も積極的に入会を促進し、健康で元気に就業していただきたいと思っております。



東松島市長 阿部秀保

年頭のご挨拶

賜りましたこと、心から感謝を申し上げます。

未曾有の被害をもたらした大震災から二年九ヶ月が経過しました。昨年は国内外の皆様からの温かいご支援のもと、防災集団移転促進事業に伴う七ヶ所全ての移転地での宅地造成工事が進行するなど、復興事業を着実に推進してまいりました。

一方、復興までの道のりには課題も山積しており、高齢者の方々をはじめ市民

皆様の豊富な知識と経験、技能等を地域で活かしていく力となります。

本市においても「あの日」を忘れずともに未来へ復興していく大変大きな活力となります。

東松島一心」をスローガンのもと一日も早い復興を目指し、全力でまちづくりに取り組んでまいります。今後とも、会員皆様方からのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

また、旧年中は、市政並びに東日本大震災からの復旧復興にご支援とご協力を

新年を迎えて



安全・適正就業委員長 菊地良大

ております。

私達が培つた知識や経験・ノウハウ等を生かすことが求められ、我々の果たす役割りが益々重要視されています。これに応えるには、

新年明けまして、おめでとうございます。

皆様にはつつがなく希望に満ちた新年を迎えられ、皆様は勿論のこと御家族様の健康と家運隆昌をご祈念なされたことと拝察致します。

当安全・適正就業委員会の業務運営につきましては、日頃から理解と協力を賜り、厚く感謝を申し上げます。この数年、六十五歳以上の方の高齢者人口は二十三%を越え、団塊の世代を迎える中、又国民全体の人口が減少化傾向にあり、今後、当センターにおいても、抜本的な高齢者対策と高齢者の就業ニーズ、労働力と職種の確保が必要不可欠な問題となつてきていると考え

ます。皆様にはつがなく希望に満ちた新年を迎えるには、皆様は勿論のこと御家族様の健康と家運隆昌をご祈念なされたことと拝察致します。

当安全・適正就業委員会は共同作業の会員同士の健康状態にも気を配り、第三には作業前に内容等のミーティングを実施し情報を共有する等、発注者とのトラブルが発生しないよう協力仕合い、ストレスを蓄積させない事も大事なことと思います。以上の観点から、

安全・適正就業推進計画を前年に引き続き樹立し、事務所防止に万全を期して参る所存ですので、ご協力方よろしくお願い致します。

- 一、安全管理体制の確立
- 二、事故防止対策の推進
- 三、健康管理の推進
- 四、安全意識の啓発及び高揚

広報部会の活動について

広報部会長 伊藤 宏

広報部会の活動内容は、昨年と同じ内容で行うことになりました。

当シルバー人材センターの普及啓発と機関紙の編集及び発行です。八月に部会を開催し、本年度の方針を決定いたしました。

まず、普及啓発については、「全国シルバーの日」の十月十九日に、シルバー人材センターの存在をアピールし、会員の増強と就業機会の拡大を図るため、普及啓発活動と清掃奉仕活動を

- イ、安全 保護具の点検
- ウ、使用機材等の点検整備です。

前年は、六月から十月まで十五回、各委員の皆様により、作業現場の安全パトロールを実施して頂きました。さらに安全保護具の着用状況や使用機材の使用状況等につきましては、正しく使用しているとのことで、しっかりと定着しております。防止に一役買っているよう

に見受けられます。本年も役員並びに職員一員で致團結し、事故防止に邁進する所存ですので、ご協力よろしくお願ひ致します。

結びに会員皆様の健康と無事故を祈念し、「作業前、心に通じるミーティング」を合言葉にしたいと思いま



紙編集委員会を開催し、掲載記事の内容、企画(ページ数、色、活字の大きさ等)、業者の選定、発行までの手順等を協議・決定し、最終的には記事の確認、原稿のチェック、校正まで三回の委員会を開催し、発行することになりました。

広報部会では、シルバーカーの普及啓発事業の円滑な推進に向け、更なる研鑽と努力を重ねてまいりますので、今後とも会員皆様方のご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

十一月七日、第一回機関



市長へ支援の要請

八月八日、東松島市役所を訪問し、阿部市長に対し、齋藤理事長より「社会の支え手」を実践するシルバー人材センターへの支援の要望を行いました。

当日は、センターから齋藤理事長、伊藤副理事長、奥田事務局長が出席、東松島市からは阿部市長、涌沢

産業部長、勝又商工観光課長が出席いたしました。

センターからは、東日本大震災後の事業の概要、会員の入退会の状況等と現在瓦礫の分別作業に従事し、終了後に再就職の難しい高年齢者の受け皿となるように取り組んで行くことを説明し、市からの補助金の確保と公共事業の発注について要請をいたしました。

阿部市長からは、シルバー人材センターは市民からも評判が良く、一生懸命取り組んでいる。高年齢者の生きがい対策としては必要な事業であることから、今後も支援して行くことの大変有り難い言葉を賜りました。



成25年度 定時
公認団体 東松島市シルバー人材セ

定時総会開催、チャレンジデーに参加

五月二十九日、小野市民センターにおいて、平成二十一年度の定時総会が開催されました。

総会には、会員数二七〇

名中、本人出席七六名、書面出席一一八名の出席のもと、小野一班の小林世明班長が議長に選任され、全て議案が満場一致で可決されました。

総会終了後、全市を挙げての行事である、チャレンジデーに参加いたしました。

今年の対戦相手は、鹿児島県奄美市で、十五分以上続けてスポーツや運動した住民の参加率を競い合うものでした。

東松島市社会福祉協議会の専任講師工藤葉子先生の指導のもと、参加者全員で、タオルを使つた軽運動を行いました。

対戦結果は、残念ながら僅差で本市が敗れたとのことです。

次回の対戦は全会員が参加し、本市の勝利に貢献できればと思います。



普及啓発と清掃奉仕活動を実施

「全国一斉シルバーの日」である十月十九日(土)に、会員五十九名が参加し、普及啓発活動と清掃奉仕活動を実施しました。

市役所、鳴瀬庁舎を中心とした公共施設と、周辺の道路のゴミ・空き缶などを拾い集め、環境美化に努めました。

また、清掃奉仕活動では、市役所、鳴瀬庁舎を中心とした公共施設と、周辺の道路のゴミ・空き缶などを拾い集め、環境美化に努めました。

来年は会員全員が参加し、シルバーの心意気・存在を市民に大いにアピールできれば最高です。



会員の参加が非常に少なく残念でしたが、参加した会員は、一生懸命普及啓発活動と清掃奉仕活動に努めました。

「シルバーの日」

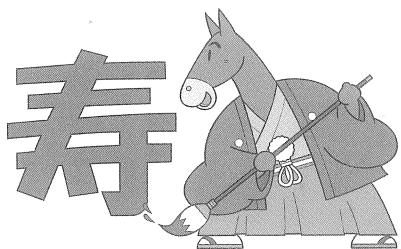
二カ所で買い物客に声掛けし、チラシ・ポケットティッシュ等を配付して、シルバー人材センターの存在をアピールし、普及啓発と会員の勧誘に努めました。

また、清掃奉仕活動では、市役所、鳴瀬庁舎を中心とした公共施設と、周辺の道路のゴミ・空き缶などを拾い集め、環境美化に努めました。

（未）

事務局からのお知らせ

「年金現況届」等の記入及びそれ以外の様々な書類等への記入上の注意



事業実施報告

(平成25年4月～平成25年11月末累計)

()内は前年対比

会員数	279名	(100%)
受託件数	1,679件	(115%)
契約金額	8,315万円	(111%)
就業延人員	20,987人	(115%)
就業率	88.2%	(98%)

皆様が毎年提出している年金等の現況届等の中に「職業」という欄がありますが決して「東松島市シルバー人材センター」もしくは就業先の会社名を記入しないでください。又それ以外の様々な書類等も同様です。

皆様は、雇用によってシルバー人材センターに雇われたのではありません。自分自身の意思により入会、

会員登録し臨時的・短期的な就業をしているのですから、その様な職業欄に記載するときは「無職」となります。記入を間違えますと、社会保険事務所から事務局に対し様々な指摘を受けるばかりか、各関係機関にご迷惑がかかります。注意していただきましょう。詳しくは事務局までご相談ください。

会員の動向

▼新会員の紹介

(敬称略)

平成二十五年四月

平成二十五年八月

平成二十五年六月

平成二十五年九月

平成二十五年十一月

平成二十五年五月

平成二十五年七月

平成二十五年三月

平成二十五年一月

平成二十五年九月

みんなの広場

交通 安全 教室に 参加し、
運転・歩行シミュレーターを 体験して

大溜班 佐々木 善吾

六十五歳以上の高齢者の交通事故が五十%に達する勢いで増加していると言われております。

年齢と共に、記憶力・判断力・瞬発力などが低下すると言われ、私も車庫入れなど少し下手になつたなうと思つていましたが、ドライブが好きで、長距離運転も苦にならないし、まだまだ

だ大丈夫と自信を持つていました。

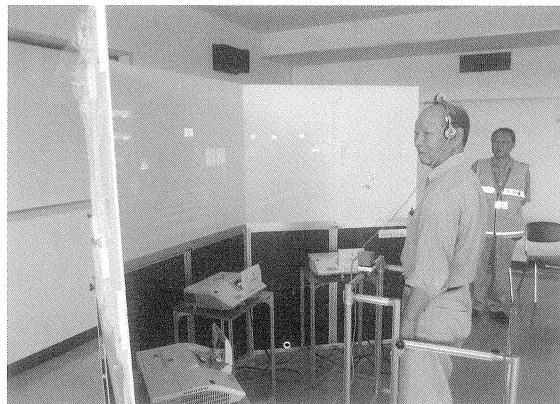
しかし、安全講話の後、歩行シミュレーターの体験をすると、横断しようとする気持ちが先行し、左右の交通量・スピード及び遮へい物など、考慮に入れた安全確認ができていませんでした。更に機敏性に欠ける歩行動作にも、鈍さを痛感しました。

運転シミュレーター

では、視力・運転操作・

判断力等など体験し、自分の欠点も知ることができ大変参考になりました。

この講習で学んだこと、体験したことを肝に命じ、今後の運転に活かして事故を起こさない、事故に遭わないようにして行きたいと思ひます。



刈払機作業従事者安全衛生教育を受講して

南赤井二班 山口功

毎年一月に発行されるシルバーだよりに、除草班員募集の記事が目にとまり、センター事業に微力ながら協力できればとの思いで手をあげてみました。

これまでにはほとんど経験がなく、環境整備の一環として短時間、刈払機を使用する程度の初心者でした。

講習会でのテキストを使っての講義では、刈払機の構造・機能に始まり、点検整備や作業の方法、作業中の災害事例、それに振動障害とその予防に関するものでした。

講義の中で一番注目した

点は、刈払機の関係法令です。一例をあげるとすれば、高さ二メートル以上の場所で作業を行つた場合、(1)足場を組み立てる(2)囲い手すりを設ける(3)強風・大雨などの悪天候時に作業を禁ずるなど、細かく定められていました。

講習を終えて草刈り作業に従事しましたが、市から

など、多くの作業時に細かい指導を受けました。

講習会で学習した事柄を実践で出来たことで、当初の不安が徐々に解消され、草刈り一年生から次への進級ができそうです。

最後になりましたが、除草班一班には草刈りのメンバーが十名程度おりますが、個人的な思いとしては、もつ

と増えると良いのではと感じております。時間に余裕があれば「この位置でナイロンコードの角度をこれ位にすれば飛散する草が少なくなるよ」

とのある人、志のある人はメンバーになつて見てはいかがでしょうか。

視察研修旅行の報告

総務部会長 伊藤 隆

本年も昨年に引き続き視察研修旅行を十一月二十五日、二十六日の両日、鳴子湯の里 幸雲閣へ一泊二日で実施しました。参加者は齊藤理事長始め総勢二十三名で、鳴子の湯を楽しんでまいりました。

恒例の懇親会は、中井輝雄上町地域班長、佐々木美智子立沼道地班長の司会の

もと、カラオケ、踊りと、芸達者な皆さんの参加で非常に楽しく、あつという間に時間が過ぎました。

参加していただいた皆様お疲れさまでした。来年も計画いたしますので、会員の皆様ぜひ参加して頂きま

す様、お願ひ申し上げまして、報告と致します。

智子立沼道地班長の司会の

除草班の編成と活動

四月一日から会員による

自主的・主体的な業務の推進、計画的な業務を行い顧客の受注に速やかに対応するため、草刈り、草取り業務に係る会員で職域班として組織編成しました。

編成にあたっては、会員数、地理的条件を勘案して、矢本地区を除草班一班、鳴瀬地区を除草班二班とし、二班体制で構成いたしまし

た。

平成二十五年度は、除草の受注が多く、特に草刈業務が公共、企業、個人から満遍なく受注があり、除草班の各班長、リーダーの方々は、編成初年度で慣れない中、苦労の連続だったと思

います。草刈り業務は六月頃から約半年間切ることなく続

きましたが、人員が不足す年目で、戸惑いもあつたと思ひますが、作業計画、現場の下見、リーダーへの指示等々を行い、班として組織的に対応できたことは、大きな収穫のあつた一年だつたと思います。



草刈り・草取り講習会の開催

五月一日、草刈り・草取りの講習会を旧ゴミ焼却施設跡地で開催いたしました。

草刈り講習会には十九名の会員が参加し、講師の内 笹井上町地域班長の指導のもと、実際に刈払い機を使って行されました。

草取り講習会には十一名の会員が参加し、講師の佐藤いよ子理事の指導のもと、実際に参加者全員で草取りを行いました。

参加した会員の皆さん、熱心に実技に取り組んでお

りました。講習会で学んだ事を今後の業務に活かしていただきたいと思います。

震災が起き、必死で後片付け、隣近所の方々ともコミュニケーションがとれるようになり、毎日、外に出れば、誰かの顔が見え、声が聞こえ、安堵していたが、日に日に職場に仕事に復帰する人、家の片付けにと、外に出てくる人がいなくなったり、一人不安と寂しさが押し寄せてきました。

そんな時、シルバー人材センターから会員入会の進めが有り、話だけでもセ

新会員になつて

下町二班 星 けい子

ンターへ行つたのがきっかけで、その日の内に入会申込をしました。

早速、仕事が決まりました。初めての仕事は立ちどろしで足腰に負担が、それ

以上にきついのが言葉でした。心身ともに気が滅入り、明日は休もうか、いや辞めようか悶々と一夜が過ぎました。でも、朝には家族と自分の弁当を作つていました。

夏には小学校の学童保育

のお手伝い、元気な子供達の笑顔、笑い声が聞こえます。そして今は老人支援センターでのお手伝いをさせていただいております。短い就業時間ですが、名前を呼んでくれたり、帰り際、「明日も来てね。」と声をかけられたり、天使の様な笑顔に嬉しい限りです。

こんな私でもあてにされ、待つてくれるのがいるんだと幸せを感じます。これもシルバー人材センターの皆様のお世話で、素敵な仕事に就けた事に感謝しています。健康になりました。

る中、各班長、リーダー、そして草刈業務に携わる会員の頑張りにより、ほぼ計画通り業務が進み終了することができました。

各班長は、除草班編成一年目で、戸惑いもあつたと思ひますが、作業計画、現場の下見、リーダーへの指示等々を行い、班として組織的に対応できたことは、大きな収穫のあつた一年だつたと思います。

十二月一日、小野二班において、牛網学習等供用施設・往還地区センター敷地内の草取り、清掃作業を行いました。

当日は班員十九名が参加し、一生懸命に草取り、ゴミ拾い等を行い、地区内の施設の環境美化に努めました。

奉仕活動終了後は、地域班会議を行い、伊藤班長からシルバー事業の状況の説明が有りました。

地域班の奉仕活動について

明、安全就業等について話し合いました。会議終了後、参加者全員で会食を行ひ、和氣あいあいの中、

班員同士の親睦を深め、有意義なひと時を過ごしました。



贊助会員のご紹介

当センターの事業目的にご賛同いただき、事業にご協力いただける市内の企業・団体の皆様方に、下記のとおり贊助会員として加入いただいておりますので、ご紹介を致します。

大 勇 堂 〒981-0503 矢本字蜂谷浦25番地 ☎ 82-2074	有限会社 ヤモト製版 〒981-0505 大塩字中沢上57番地 ☎ 82-2591
株式会社 いしがき金物店 〒981-0503 矢本字河戸11番地 ☎ 82-3122	株式会社 おいかわ 〒981-0503 矢本字栄町41 ☎ 82-2309
有限会社 佐藤建設 〒981-0505 大塩字清水沢15-1 ☎ 82-8802	株式会社 石巻青果 〒981-0501 赤井字南三242-1 ☎ 83-6111
カネフジ運輸 株式会社 〒981-0502 大曲字下台128-121 ☎ 82-7878	有限会社 鳴瀬畠山自動車 〒981-0303 小野字中央2-2 ☎ 87-3818
有限会社 千葉岩材工業 〒981-0413 新東名4丁目8-8 ☎ 88-3949	有限会社 ケーシー・スクエア 〒981-0308 牛網字東牛坂107-1 ☎ 86-1553
石巻信用金庫矢本支店 〒981-0503 矢本字上新沼21番地2 ☎ 82-2335	有限会社 阿部産業 〒981-0503 矢本字上河戸192-2 ☎ 82-6226
株式会社 尾形土建 〒981-0411 野蒜字山崎13-2 ☎ 88-2147	奥洲物産運輸 株式会社 〒981-0504 小松字上二間堀176番地 ☎ 82-5211
有限会社 津野商會 〒981-0505 大塩字大島沖下5-2 ☎ 82-8783	医療法人医徳会 〒981-0503 矢本字鹿石前109-4 ☎ 82-7111

今回の発刊にあたり、阿
部市長さんの年頭のご挨拶
始め、会員の皆様方から沢
山の寄稿をいただき大変感
謝しております。短期間
の編集作業でもあり、試行
錯誤の連続でしたが、お陰
様でどうにか発刊の運びと
なりました。

シルバー人材センター事
業が円滑に運営出来るため
には、会員皆様の日頃感じ
ている生の声が大切なこと
だと思っていました。
気楽にセンター事務局に
顔を出して、対話の場を設
けていただきたく、よろし
くお願い致します。(伊藤)

編集委員長
小林 松浦 高橋 辺見 千代
世明 正義 勝栄 佐々木 美智子
尾形 丹野 美代子 宏



編集後記